

久保島 いわお 巖

飯島町議会報告書

108

令和3年2月15日



発行者：久保島 巖(飯島町議会議員)
 上伊那郡飯島町本郷2406番地383(豊岡)
 TEL/FAX 0265(86)2717
 HP：<http://www.cek.ne.jp/~kubo4ma1/>
 E-mail：kubo4ma180@cek.ne.jp

トレーラーハウスのゆくえ

9月定例会で突如現れたトレーラーハウスの契約議決が2/9臨時会に上程された。

激論の末、6：5で可決された。

コロナ禍にあっても先を見据えた事業で、進めるべきと言う議員が6人いたという事だ。

私は、今は時期尚早と企画の練り直しで反対したが、一步及ばなかった。

県からは県ををまたぐ移動は極力避けてくださいと言っている中で、都会から人を招く事業を、今すべきでないという意見もあった。町長の思い付きで始まった「飯島流ワークショップ」はどう考えても、町民に経済と心の豊かさをもたらすとは思えない。

作成と通行許可に時間がかかり、今発注しないと9月オープンは難しいというが、9月に新型コロナは収束しているのだろうか。

工期を短縮するには5社発注で1/5に。

令和3年第1回臨時会

飲食店など応援金決定

飯島町議会第1回臨時会が、2月9日に開催され、補正予算・契約議決が審議されました。

補正予算9号は年末年始に帰省する学生などや受験・就職で感染拡大地域往来者にPCR検査を補助する予算で専決処分したものの承認。補正予算10号は、国の3号補正に対応したものだ。飲食店の応援金が盛り込まれた。

※補正予算第10号の主な歳出

・学生とつながろう第3弾	130万円
・避難所防災備蓄	170万円
・新型コロナワクチン接種準備	394万円
・道の駅花の里事業継続補助金	185万円
・農村地域防災減災	3396万円
・道の駅花の里エアコン取替	801万円
・林道維持補修工事	3010万円
・事業継続応援補助金	1650万円
・千人塚センターハウス拡張	1709万円
・社会資本整備事業	6671万円
・マイナンバー端末機	74万円
・リフォーム補助金	60万円
・飯小ストーブなど	84万円
・七小ストーブなど	88万円
・飯中加湿機など	85万円
・飯島公民館太陽光発電	73万円

飲食・宿泊・タクシーがコロナ禍で一番影響を受けていると判断された。酒類販売などの支援は、次に考えたいと町長は答えた。くらし復興券の利用増減で判断したとの事だ。第2弾では卸小売が増えていた。

令和3年度予算の概要

町は2/15日令和3年度の予算概要を議会全員協議会で公表した。新聞社などのメディア発表数時間前に行うもの。

令和3年度は、第6次総合計画初年度で、「新しい発想で考えるアルプスのまち 豊かな未来・自然・暮らし」を目指すもの。

8つの基本構想を柱に、更に2つの重点プロジェクト「飯島町環境循環ライフ構想」「人口増対策事業」を横断的に取り組む予算と発表された。

一般会計は過去10年で最大の、49億8100万円(前年比1億2600万円+1.02%)。

全予算総額85億9939万円(前年比1億4195万円+1.02%)となった。

※主な新規・継続事業

・飯島警察官駐在所用地	1209万円
・庁内情報システム再構築	7700万円
・新エネルギービジョン改訂	1121万円
・日曾利園場整備事業概要書	2442万円
・火の見線、丸山線改良設計	832万円
・道路改良(南田切、上ノ原)	8050万円
・まちなか支援員3人配置	527万円
・病児病後児保育施設補助	3612万円
・飯島体育館大改修	8702万円
・飯島体育館トイレ改修など	1552万円
・本郷運動場トイレ整備	960万円
・環境循環ライフ構想推進室	256万円
・成人式出席者PCR検査	158万円

むら夢楽塾はオンラインで開催

第28回を迎える「いいじま・むら夢楽塾」は2/6文化館大ホールで開催された。

3密を避けるため、席は1つ置きで前後も斜め着席などで感染対策は万全だ。

例年の功労者表彰などの後の講演会は、オンラインで行われた。

研究報告で東京大学大学院の宮下直教授の「ミヤマシジミの分布」に関わるもので、飯島町が大変貴重な生息地になっていることが示された。また、出戸秀典院生からは「ミヤマシジミの生態と保全」が報告された。草刈りのタイミングやアリとの共生も分かった。また、筑波大永野裕大院生の「ソバの実りを支える昆虫と畦畔管理」の報告で、アリが以外に働いている事がわかった。その働きのためにも畦畔の草刈

も適度にして欲しい訴える。

最期に日本自然保護協会の藤田卓氏の「生物多様性地域戦略の可能性～地域づくりへ活かすために」があった。国はこの戦略策定を努力義務に位置付けており、当町でも策定が望まれる。環境循環ライフ構想もこの傘下に位置付けるものでは。



写真: 営農センター撮影(LINEより)

どうなるお助隊

社会文教委員と健康福祉課課長・係長・調整幹との懇談会を開催した。

この3月に策定される「第2次飯島町地域福祉計画・活動計画」の説明があり、「お助隊」の位置づけが明らかになった。

町長2期目の目玉政策「お助隊」は、新規の取り組みではなく、今まで町がやってきた福祉関連の事業を総称したものだ、明言されたい。地域差はあるが、町は比較的助け合いの連携がとれているとの福祉担当の感覚だ。

その感覚が、町長には無く「これからはできることで、地域貢献する人材バンクのようなものが必要だ」と力説し、プラットホームを作ると明言したが、委託先の社協との調整ができず失速していた。

今進んでいる福祉関係・社会教育関係の横の連携を取り、総合的に助け合いの精神を広めることを今後取り組むという。

今後町も高齢者も増えるが人口は減っていくことから、若者に頼らず「私は〇〇が得意」と高齢者自身が登録します。「〇〇を助けて」の声にマッチングして、安価で派遣します。こうしたお互いを助けたり助けられたりの、温かい地域になっていく事が理想ですね。これを期待していた委員でしたが、残念な結果でした。

高齢者の中にも自分の培ってきた技術やノウハウを生かしたいと思っている方が多くいると思います。そうした隠れた人材の発掘が一番の課題。今よりバージョンアップを。

いいずら君 いわお画



与太霧川柳

◆ 背伸びして 銀座に出向く 下級人

銀座に行けば一流だと勘違いの莫迦者が、自肅要請期間に出掛けてOUT！

こういう輩が国会議員だからたまらない。最低な下級人と認識せよ。

◆ 失言の 火消のつもりが 油掛け

とかく失言の多いM元総理には、困ったものだ。女性蔑視に芸能人差別と炎上。

謝罪会見で火消を図ったが、大失敗の大炎上。「人の振り見て我が振り直せ」か。

◆ 節分夜 祖母をうらやむ 幼き日

子どもの頃歳の数だけ豆を食べる節分。「僕は7つだけ？ばあちゃんずい64個も」とうらやんで、早く大きくなるぞと思った。

今となっては、誰か代わりに食べてくれ！

◆ 議員には 4年一度 通信簿

4年はあつという間にやってくる。一般質問を考え調査し、原稿を書き本番。議会だよりを作って一段落。予算決算の審査・条例審査の為の調査研究なども欠かせない。

陳情や請願の調査研究もあり、時間が足りないのが実情だ。報告書を作っても配布や報告会の開催がままならぬ。反省頻り！任期最期の通信簿を受け取る時が来た。

愚痴一人言

・12月の中旬からは町議選は公職選挙法の適用範囲だ。戸別訪問もできない。更に今年は何人数会合は自肅となれば、どう戦うのか？
コロナ禍を契機に変革の時が来た。

米俵マラソンの今年度開催を、どう思いますか？

2020年度は新型コロナ感染症対策の為VR大会として、インターネット上のサイト利用のゲーム感覚のものを開催しました。

実際に走るわけではないので、今一つランナーの皆様にはアピールできませんでした。参加者も少なく残念な結果でした。

実行委員長として多大な責任があると痛感しています。

今年度は開催をどうするか決定する時期になっており、悩ましい処です。

新型コロナ感染症の収束見通しは立たず、ワクチンの接種の普及も楽観視できません。また、治療薬の有効性や許認可が降りるのかも心懸かりの点です。

ここで、頑張っって開催したとしても町民の皆さんに喜んで貰えるか疑問があります。

何しろ、3密の極みであるとともに、新米と豚汁を皆で食べることを売りにしている米俵マラソン大会ですので気掛りです。

参加者の多くは県内ランナーですが、首都圏や関西・中京からの参加者も、少なからずおられます。そうしたランナーを町民の皆さんに喜んで迎えて貰えるか心配です。

* 皆さんのご意見を伺います。

Email: info@komedawara.jp

Fax: 0265-86-6622(未来いいじま)

EmailとFaxに限らせていただきます。電話等は出れない場合がありますので、ご遠慮頂きます様お願い致します。